

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第135号	
事故等名	衝突（定置網）	
発生年月日時刻	平成21年5月5日（火） 18時48分ごろ	
発生場所	神奈川県三浦市東方沖 釧埼灯台から真方位027° 2,400m付近 （概位 北緯35° 09.7′ 東経139° 41.4′）	
事故等調査の経過	平成21年5月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	モーターボート <small>ワンシーン</small> ONE SCENE、12トン 230-34382 神奈川、株式会社 SECT CARRY 船長、一級小型船舶操縦士 なし 本船 左右のプロペラ、推進軸を曲損、クラッチギア損傷 定置網 垣網、浮子及び浮子網等を損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか同乗者6人が乗船し、三浦市東方沖を航行中、久里浜東方沖の海鹿島灯台の灯光を視認し、同灯光に向けて約10ノットの速力で航行していたところ、平成21年5月5日18時48分ごろ三浦市東方沖の定置網に乗り入れ、網が推進軸に絡みつき航行不能になった。 本船は、海上保安庁に通報し、翌6日曳航されて帰港した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北東、風速 約3m/s 視界 良好 日没時刻 18時31分 海象：潮汐 下げ潮の末期、海上 平穏	
その他の事項	本船は、レーダー及び往路の航跡線を表示したGPSプロッターを作動させていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、三浦市東方沖を航行中、予定針路から外れ、定置網に進入したものと考えられる。 船長は、針路の確認を行わず、同乗者が操舵室左舷側のサロンドアの修理に当たっていることに意識を集中していたので、予定針路から外れる状況となったことに気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が三浦市東方沖を航行中、針路の確認を行っていなかったため、予定針路から外れる状況となったことに気付かず、定置網に進入したことにより発生した可能性があると考えられる。	